



山階南だより

平成30年10月

京都市立山階南小学校

校長 深尾 則子

<学校評価特別号>

学校教育目標

よりよい自分・学校・社会をめざし、

主体的に学び、協働する山階南

～自分大好き 友だち大好き

学校大好き 山階南の仲間たち～

保護者のみなさまにおかれましては、益々ご健勝のことと思います。平素は本校教育にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。本年度も昨年度同様15項目でのアンケート調査を行いました。また、山科中学校・百々小学校と三校で連携を深めるために、今年度も学校評価で共通の評価項目を設けています。

保護者の方には「学校評価アンケート」、児童には「よりよい学校にするためのアンケート」、教職員には「自己評価」、とそれぞれの立場で振り返るためのアンケートを実施しました。アンケートにご協力ありがとうございました。これらの集計結果をお知らせします。

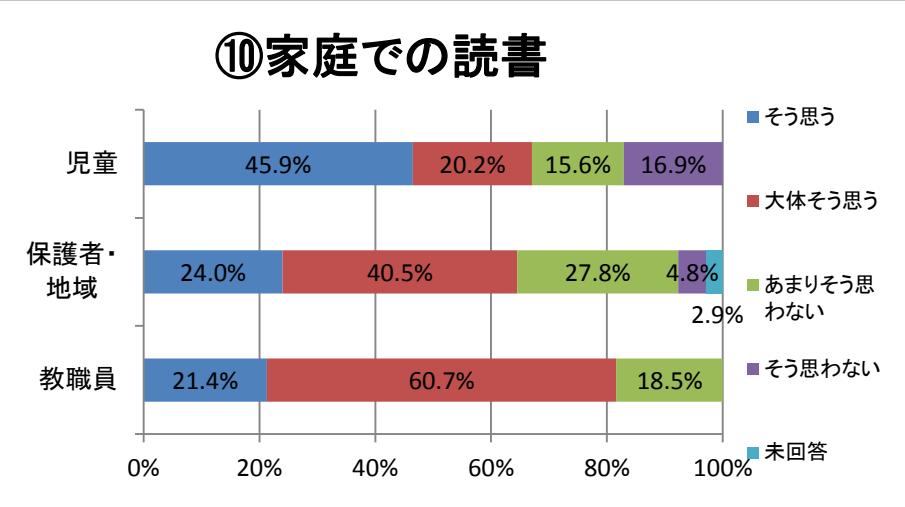
＜学校評価アンケートの集計結果について＞

「確かな学力」の育成に向けて 一生懸命 努力する子

「授業中、人の話をしっかりと聞いて学習していますか」の質問に、児童の92.6%（「Aよくあてはまる」と「Bあてはまる」を合わせた値、以下同じ）、「子どもは意欲的に学習に取り組んでいる」の質問に、保護者・地域の85.0%がA・B評価と回答しています。

お互いの思いや意見を交流することは、自分の学びを広げ、深めていくことにつながります。そのためにも、「話をしっかりと聞く」ことはとても大切です。教職員は、子どもたちが意欲的に学ぶことのできる集団づくりと様々な形態（ペア・グループ・一斉）を取り入れて授業を進めています。

一方、「家庭での読書への関心」については、A・B評価が児童66.1%，保護者64.5%と他の質問項目より低い回答になっています。4月に6年生対象に行われた「平成30年度全国学力・学習状況調査」でも同様の傾向が見られました。



読書は子どもたちの成長にとって欠かせない活動の一つです。文章を読み進める中で、新しい言葉に出会うことができます。また、自分とは違う考え方・自分とは違う生き方に触れることができます。学校では、読書月間など、図書ボランティアの方と協力して本に親しめる機会を作っています。図書委員会の子どもたちも、読み聞かせをしたり掲示物を作ったりと活躍してくれています。楽しいと思う気持ちは、好きにつながる第一歩です。おうちで大人の人が本を読んでいる姿をぜひ子どもたちに見せてあげてください。「大人も子どもも 本を楽しむ」ことをおうちでも大切にしていただきたいと思います。

「豊かな心」の育成に向けて 力を合わせて 活動する子

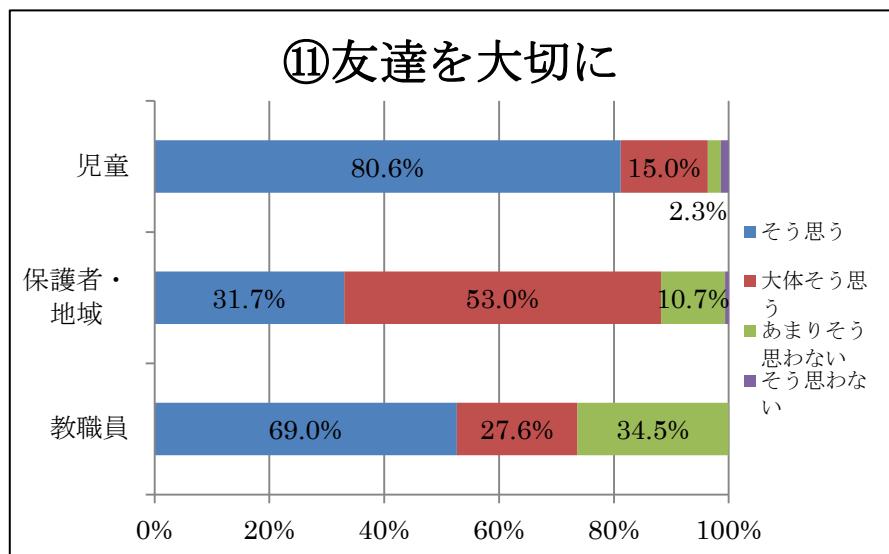
「友達を大切にしていますか」では、児童の 95.6% が A・B 評価と回答しています。

自分の思いと友達の思いが行き違うことは、学校生活の中ではよくありますが、起こった原因を振り返ることが、とても大切です。自分の思いを言葉にして伝え、相手の思いを聞くことを通して、友達との関係を深めることにつながります。教職員は、個々の子どもたちの思いを聞き、子どもたち同士がつな

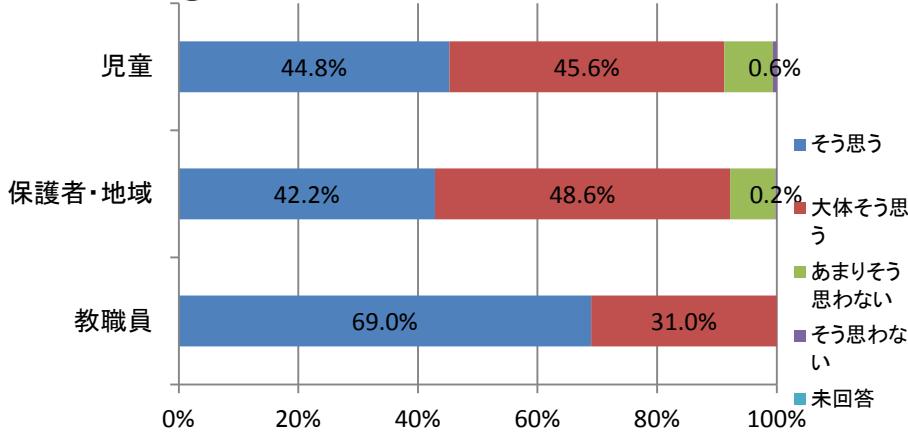
がれるようにと指導を続けています。教職員は、今よりよい友達関係を願っていることがアンケートにあらわされていると考えます。

「進んであいさつをし、丁寧な言葉づかいをする」児童が 90.4%、「あいさつと言葉づかいに注意をはらっている」保護者が 90.8% です。

あいさつは、人と人を結ぶために大切なものです。「おはようございます」と元気なあいさつで、1日をスタートしてほしいと考えています。



①あいさつ・ことばづかい



学校では、児童会本部役員が中心となって、あいさつ週間に取り組んでいます。また、活動の始めと終わりに「よろしくお願ひします」「ありがとうございました」とあいさつすることを続けています。声に出して、あいさつする習慣についてほしいと思います。

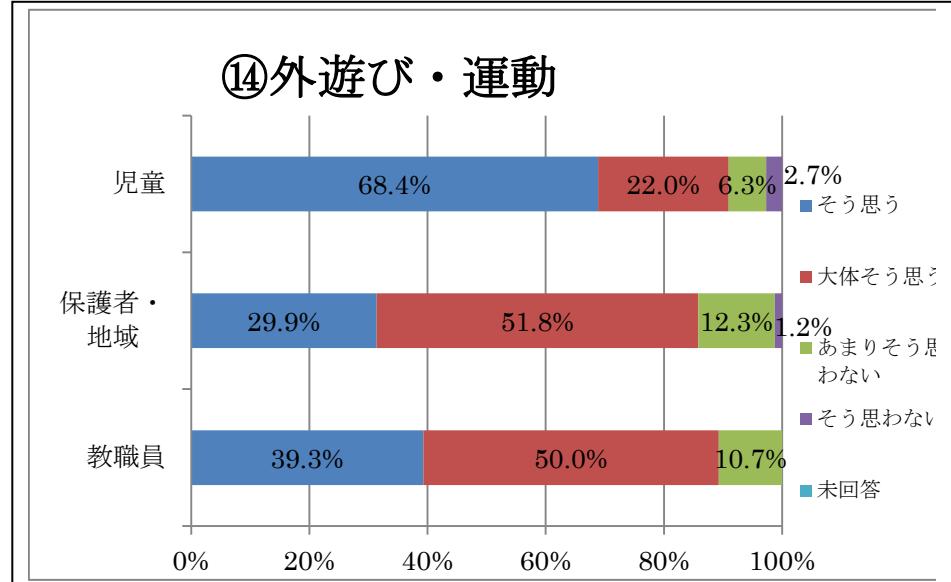
「健やかな体」の育成に向けて 笑顔いっぱい 元気な子

「外遊びや運動をしていますか」という設問に対して、児童90.2%がA・B評価と回答しています。「学校は子どもの体力を高める取組をしている」という設問に対して、保護者・地域81.7%がA・B評価と回答しています。

子どもたちの体力作りのためになわとび検定を行っています。また、運動委員会の子どもたちがリレー大会や大なわ大会などを企画し、全校で運動に親しめる機会を作っています。

「地域での遊びの時、安全に気をつけていますか」では、児童は94.4%、「安全（交通・防犯）について話をしている」では、保護者が95.2%、「放課後の遊びや防犯・交通安全について指導している」では、教職員が100%とアンケートのたびに高い割合でA・B評価と回答しています。保護者の方や地域の方々にご協力をいただき、子どもたちは安全に登下校することができています。しかし、地域での遊びのマナーや自転車の乗り方等を心配する声が聞かれたり、帰宅時刻が気になることがあったりします。学校では、その都度子どもたちに指導を続けています。見守ってくださるたくさんの方たちの存在を知り、地域・社会の一員としての自覚をもち、安全に、そして人の迷惑にならないように行動する力を身につけてほしいものです。

< 学校運営協議会より >



子どもたちへの教育は、保護者と学校の信頼関係が大切であり、学校は子どもたちの状況や保護者の思いをしっかりと受け止め、教育の充実に努めていきたいと考えています。今後とも家庭・地域と学校が連携を密にし、より具体的な取組を進めていくことが大切だと考えています。今後とも、ご支援・ご協力の程よろしくお願ひします。

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「京都はぐくみ憲章」を実践しましょう!



